槟榔也重帯アルヲ木瓜トシ、重帯ナキヲ槟榔ト云、コレヲ見テ二ノ物ヲワキマフベシト也、サレバ此物ハ木瓜ノ類ナルコトハ一定ナリ、

開寶本草曰、菴羅果若林檎而極大、一種クハリント云モノ、リンゴノゴトシ、

大明一統志曰、菴羅果俗名香蓋、香トイヘバ香アルナリ、一種クハリント云ハリンノ類ナルモノ、殊ニ香シ、乃果中極品一種クハリント云モノ、アヂコトニ美ナルモノアリ、種出西域、亦奈類也、一種クハリント云モノ、始メ番人ノ我國ニ傳ヘシヤ、モシサアランニハ、西域ヨリイデシ種ナルベシ、

〔重修本草綱目啓蒙二十一山果〕槟榔　クハリン　キボケ

市中ニ多ク植ユ、高サ一二丈、木大ニナレバ皮一二寸ゴトニ、鱗ノ如クナリテ落ツ、ソノアト數色アリテ美ハシ、冬ハ葉ナシ、春新葉生ジ、三月ノ末ニ花ヲ開ク、葉ハ林檎ノ葉ニ似テ長大ナリ、細鋸齒アリテ、質堅シテ互生ス、花ハ五瓣淡紅色、實ノ形甜瓜ノ如ニシテ小ク、末ノ方濶シ、秋ニ至リ熟シテ、淡黄色香氣多シ、味酸澀食シ難シ、蜜薑ヲ以テ製シテ菓トス、カセイタト云、藥舗ニハ堅ニ四ツニ切リ乾テ、木瓜ニ充テ賣ルハ非ナリ、舶來木瓜中ニモ、此小ナル者ヲ堅ニ二ツニ切リ雜ユル者アリ、宜ク撰ブベシ、クハリンニ同名アリ、唐木ノクハリンハ花櫚ノ唐音ニシテ、喬木類ノ櫚木ナリ、

〔書言字考節用集六生植〕榲桲マルメル槟榔之屬、本草、性温氣馥、故名、

〔倭訓栞中編二十四末〕まるめろ　榲桲をいへり、まるめいらともいふ、その實まろし、よて名くるか、或は蠻語なりといへり、砂糖漬を香圓といふ、

〔大和本草十果木〕マルメル　樹モ花モ海棠ニ似テ、葉ハ梨ニ似タリ、花淡紅色、實ハボケニ似タリ、本草ニ榲桲アリ、或曰、是マルメルナルベシト云、然ドモ本草ニ、榲桲ハ味尤甘、其氣芬馥、又曰、花白綠色、本草ノ數說花白ク香アル事ヲイヘリ、マルメルハ花淡紅、花モ實モ無香、實味澀酸不可食、然レバ榲桲ニ非ズ、榲桲ハ日本ニ無之、マルメルハ蠻語ナルベシ、是蠻國ヨリ來リテ中華ニハ無之乎、花ハ頗ヨシ、實ヲ用テカセイタニ作ル、

榲桲